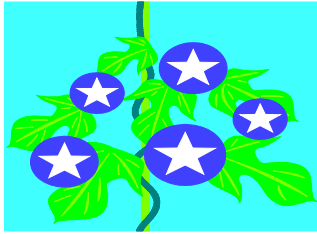


家庭教育通信

「家庭教育通信」は子ども達のすこやかな成長を願い、よりよい家庭教育について皆で考え行動することを目指して、白井市教育委員会が情報を発信するものです。

VOL. 8



発行：白井市教育委員会

監修：白井市家庭教育講座講師 富澤 裕子

お問い合わせ：白井市教育委員会 教育部 生涯学習課

TEL 0 4 7 (4 9 2) 1 1 1 1

～夏休みを利用して、子どもの苦手を克服してみませんか～

夏休みは、子どもに普段はできない自然に触れ体力づくりをしたり、学習やお手伝いをする習慣をつけたりと親がしてほしいことを始めるいい機会です。けれど、毎日コツコツと続けるお手伝いや学習は続けることが大変です。その一つ、読書習慣をつけることに成功した親子の例をご紹介します。



5年生の翔君は国語が苦手です。本を読むのはあまり好きではありません。自分から読むものは、漫画とゲームの攻略本くらいです。ママは、読書が大好きというほどではありませんが、翔君の読書量の少なさが気になっていました。そんなある日、ママが新聞を読んでいると『文章を読むこと』『文字を書くこと』が大切であるという記事を読みました。全ての学習の基礎であり、考える手段としても、人とのコミュニケーションをとるためにも、日本語＝国語の能力は欠かせないとのことでした。

そこで、夏休みを利用して翔君の苦手を少しでも克服できないかと考えました。今まで夏休みの計画を立てさせても、計画倒れ。読書感想文の推薦図書を買って与えても読みきれませんでした。また、子どもにとって必要なこと・大切なことと思って注意しても、親の言うことに従わない年齢になってきました。

ママ「翔君、新聞に文章を読む力が大切だって書いてあったの。君は、算数や社会が得意でしょう。それをもっと伸ばしていくためにも、読む力が大切なんですって。勉強は全部日本語でするし、何かを考える時も日本語で考えているでしょう。国語が大切なの。だから、夏休みに読書してみない？」と新聞記事を見せました。

翔「イヤダ。ムリ」

ママ「イヤ？…どうしてか聞かせてくれる？」

翔「メンドクサイ。つまらない本ばかり読まされて、感想文を書かなきゃいけないし、ママは何度もやり直しさせるから」

ママ「興味のない本を無理やり読まされて、感想文まで書かされるから、イヤなんだね」

翔「そうだよ」

このように話し合いを続け、翔君の意見も取り入れて読書にトライしてみることにしました。その際の約束も決めました。

読む本は、翔君が選ぶ・ 読書は朝 10 分だけ・ ママも家事をやめて一緒に読む・ テレビは消す・ ママは感想を聞かない、の 5 つです。

初日、キッチンタイマーを 10 分にセットして始めました。翔君はあくびをしたりねっころがったりと中々集中できません。翔君のそばで翔君の肩や背中に手を置きながら、黙って本を読み続けました。

そして、1 週間。翔君は少し読書に慣れ、ママも家事の手を休めて本を読んでいます。読んでいる本は幼い頃に見ていた図鑑や絵本、攻略本、歴史漫画や伝記、低学年向けの挿絵の多い読み物などです。「うれしいな！毎朝君と本が読めて」と、ママが声をかけると、翔君はニコツとして又目を本に落としました。



この読書習慣が成功した鍵は何でしょう？

- ・ 子どもと話し合いをした（親の意見を伝えながら、子どもの考えや言いたいこともしっかり聞いた）
- ・ 子どもが選んで決める自由があった（子どもの興味のあることを楽しくできる）
- ・ 短時間であった（苦しくない）
- ・ 親の言動が一致している（いい事・大切な事を親自身が実践しているので、納得する）
- ・ 親に支えられている（親と一緒に行動し、応援のことばや肯定の気持ちが伝えられる）

これらの条件が満たされると、子どもは苦手なものや未知のことにもチャレンジしていく気持ちが生まれやすくなります。

この夏、あなたは子どもと一緒にいる時間をどのように使って、何を伝えますか。

と一緒に考えてみませんか？

家庭教育の悩みや不安について相談するには、

白井市教育センター室 ☎ 0 4 7 - 4 9 2 - 2 3 0 1

千葉県子どもと親のサポートセンター ☎ 0 1 2 0 - 4 1 5 - 4 4 6

千葉県総合教育センター特別支援教育部 ☎ 0 4 3 - 2 2 7 - 1 1 6 6

（障害のある・あるかもしれない子どもの養育や教育について）

養育上の悩みや非行・虐待など児童の福祉相談するには、

中央児童相談所 ☎ 0 4 3 - 2 5 3 - 4 1 0 1

（子ども・家族 1 1 0 番）

白井市家庭児童相談室 ☎ 0 4 7 - 4 9 7 - 3 4 7 7

（社福）千葉いのちの電話 ☎ 0 4 3 - 2 2 7 - 3 9 0 0

（ひとりぼっちで悩まずに…… 2 4 時間・年中無休）

子どもの非行などを相談するには、

少年センター（千葉県警）☎ 0 1 2 0 - 7 8 3 - 4 9 7

県内の相談場所